

令和元年度 指定管理施設に係る事業報告概要

施設名	いきいきプラザ一番町	所在地	千代田区一番町12
-----	------------	-----	-----------

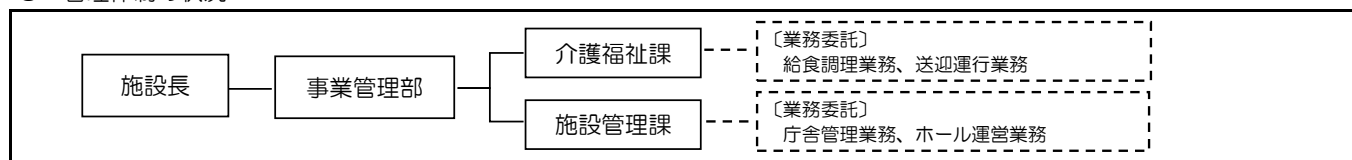
1 指定管理者の概要

名称	社会福祉法人 東京栄和会	代表者	理事長 鈴木 信男
所在地	東京都江戸川区西葛西八丁目1番1号		
指定期間	平成28年4月1日～令和5年3月31日	報告期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 指定管理の概要

施設の目的	介護を必要とする高齢者の能力に応じた自立生活の援助及び介護者等の負担軽減を図るとともに、区内に住み、働き、学び、集う広範な区民の総合的福祉活動を援助促進するほか、世代間交流とノーマライゼーション理念を実現し、もって区民福祉の向上に資する。
管理業務の内容	(1) 特別養護老人ホームの事業に関する業務 (2) 高齢者在宅サービスセンターの事業に関する業務 (3) 区民施設の事業に関する業務 (4) 施設・設備の保守及び維持管理に関すること

3 管理体制の状況



4 事業実績等

ア 特別養護老人ホーム事業

(ア) 介護福祉施設サービスの提供

	定員	入退所者数		年度末在籍	平均介護度	平均年齢
		入所	退所			
令和元年度	82床	31人	32人	81人	3.9	87.2歳
平成30年度	82床	33人	32人	82人	3.9	88.2歳
平成29年度	82床	19人	19人	81人	3.9	89.4歳

(イ) 短期入所生活介護サービス等の提供

	短期入所生活介護		介護予防短期入所生活介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員	実施日数	利用者数	利用率
令和元年度	366日	2,331人	366日	29人	8床	366日	2,360人	80.8%
平成30年度	365日	2,527人	365日	58人	8床	365日	2,585人	88.5%
平成29年度	365日	2,952人	365日	22人	8床	365日	2,974人	101.8%

イ 高齢者在宅サービスセンター事業

	通所介護		介護予防通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和元年度	310日	7,701人	310日	1,274人	35人	310日	8,975人	83.0%
平成30年度	309日	7,582人	309日	1,027人	35人	309日	8,609人	79.6%
平成29年度	309日	7,450人	309日	878人	35人	309日	8,328人	77.0%

	認知症対応型通所介護		介護予防認知症対応型通所介護		計			
	実施日数	利用者数	実施日数	利用者数	定員(日)	実施日数	利用者数	利用率
令和元年度	310日	2,578人	310日	0人	12人	310日	2,578人	69.5%
平成30年度	309日	2,418人	309日	0人	12人	309日	2,418人	65.2%
平成29年度	309日	2,532人	309日	0人	12人	309日	2,532人	68.3%

ウ 区民施設事業

(7) 福祉活動の推進・援助事業

	いきいきコンサート		介護者教室		イベント		その他
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
令和元年度	10回	1,533人	6回	110人	5回	683人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動団体の活動支援 ・レストラン会食サービス事業支援等
平成30年度	12回	1,809人	4回	46人	6回	700人	
平成29年度	12回	1,913人	3回	38人	6回	654人	

(4) 区民施設の利用

	多目的ホール		会議室		区民ギャラリー		温水プール		
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用日数	個人利用		団体利用
							利用者数	件数	利用者数
令和元年度	410件	45,769人	371件	6,984人	26件	187日	18,020人	154件	4,320人
平成30年度	504件	56,836人	472件	5,925人	23件	178日	19,121人	169件	5,042人
平成29年度	477件	53,228人	457件	8,893人	22件	179日	17,196人	144件	3,920人

エ 施設及び設備の保守及び維持管理（通年）

(7) 建物設備保守管理業務

(4) 施設清掃業務

(6) 警備業務 等

5 収支の状況

ア 特別養護老人ホーム事業

イ 高齢者在宅サービスセンター事業

【令和元年度】

		計	介護老人福祉施設	短期入所生活介護	高齢者在宅サービスセンター
収入	介護福祉施設介護料収入	291,544,623円	291,544,623円		
	居宅介護料収入	94,663,344円		25,887,103円	68,776,241円
	地域密着型介護料収入	32,972,422円			32,972,422円
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	7,871,817円			7,871,817円
	利用者等利用料収入	75,812,385円	64,425,680円	4,854,493円	6,532,212円
	補助金収入	26,628,461円	24,864,000円		1,764,461円
	その他の事業収入	0円	0円	0円	0円
	受託事業収益	0円			
	その他事業収益	0円			0円
	その他の収入	458,231円	458,231円	0円	0円
	経常経費寄附金収益	90,000円	90,000円		
	その他収益	368,231円	368,231円		
	サービス活動外収益	0円	0円		0円
合計(①)	529,951,283円	381,292,534円	30,741,596円	117,917,153円	
支出	人件費支出	310,235,955円	229,768,109円	24,385,634円	56,082,212円
	事業費支出	50,019,665円	39,282,360円	2,312,535円	8,424,770円
	事務費支出	152,379,396円	95,343,148円	7,659,253円	49,376,995円
	事務費※ ¹	148,577,712円	92,126,070円	7,578,275円	48,873,367円
	利用者負担軽減額	0円	0円	0円	0円
	減価償却費	3,774,454円	3,217,078円	53,748円	503,628円
	徴収不能引当金繰入	27,230円	0円	27,230円	0円
	サービス活動外費用	0円	0円	0円	0円
	合計(②)	512,635,016円	364,393,617円	34,357,422円	113,883,977円
収支差額(①-②)	17,316,267円	16,898,917円	-3,615,826円	4,033,176円	

※¹ 歯科ユニットリース料は、「事務費-賃借料」から支出している。

ウ 区民施設事業

【令和元年度】

		区民施設
収入	指定管理料（管理受託収入）	267,590,000円
	利用者等利用料収入	12,372,928円
	その他の事業収入	31,305,745円
	庁舎管理費収入	27,829,300円
	補助金事業収入	0円
	その他の活動収入	3,476,445円
	雑収入	0円
	合計（①）	311,268,673円
	支出	人件費
運営費		66,421,519円
事業費支出		65,883,912円
その他の支出		537,607円
施設整備等支出		0円
その他の活動支出		0円
維持管理費（事務費支出）		199,377,584円
合計（②）		303,854,734円
収支差額（①－②）		7,413,939円

6 指定管理者による自己評価

サービス提供に関して	収支に関して
<p>介護保険事業は、継続実施しているタクティールケアを日常の介護に取り入れて、利用者サービスの向上成果を上げているほか、終末ケアにも積極的に取り組み求められる看取り介護を入所家族同意に基づき看取り介護を16名様実施した。また、日常生活の中にリハビリやアクティビティを取り入れた自立支援など実績経験を生かした質の高い介護サービスについても維持継続した。通所事業においては地域ケアの一環として独自の日曜デイ（認知症デイ：月2回）を継続実施し参加者の好評を得ている。</p> <p>介護事業共通項目として継続的に実施している高齢者の権利擁護や虐待防止の積極的な取り組みは、第三者評価機関からも評価されており虐待防止委員会などの各種委員会の定例化と併せて、職員の倫理向上と介護サービスの質の向上に努めている。また、多彩な趣味生きがい活動なども取り入れ、夜勤看護師の配置など介護保険施設における望まれる医療介護サービスが可能な体制を今後も維持し、利用者・家族に安心と安全のサービスを継続して提供してきた。</p> <p>区民施設及び施設管理は、独自のプログラム提供や地域包括支援センターとの連携により認知症カフェの実施を地域に提供するなど地域高齢者の居場所作りの一助となり、区民施設全体の利用者の増加に向けた取り組みを図った。指定管理者としての責任と民間法人の弾力性・柔軟性とを踏まえ、改善すべき点や課題の解消に取り組み、改善に向けた努力を継続的に精進し順調な事業活動ができた。今後も、更に区民に親しまれ、利用のしやすい安全で快適な施設運営を目指す。</p> <p>※タクティールケア：一般的なマッサージとは異なり、肌と肌との触れ合いを通じたコミュニケーションの方法で、肌へ柔らかく触れることで「オキシトシン」というホルモンが分泌され、穏やかさや安心感が生まれるケアのことをいう。</p>	<p>介護保険事業は、介護報酬改定に伴う多床室特養の減額改訂及び通所事業の減額改訂の影響は諸物価高騰とも連動して負担が大きく、通所事業においても稼働率低下傾向の改善対応等により前年対比の収入は横ばい程度であった。加算取得の取り組み、区の介護職員（特養対象）の確保等補助金対応や職員のモチベーションを維持するための対策など、介護サービスの質の維持向上も並行しながら、稼働率の改善及び新規利用者の獲得に努力したことにより介護事業全体の収入確保が出来た状況であった。</p> <p>今後も、特養新規入所者の入所期間短縮による空床期間の短縮と併せて、一般通所サービス利用者及び認知症対応型通所サービス利用者の新規利用開拓を積極的に展開し、さらなる稼働率の向上を目指し安定継続した事業展開に必要な収入確保に努める。</p> <p>介護職員の新規採用は中途採用・学卒採用共に困難を極め深刻な人材不足状況にあり、質の高い介護職員の離職防止と新規採用確保に苦慮している。当法人の当該事業に関わる現任介護職員も親の介護などで離職するケースが深刻な状況であり、新規採用は人材派遣会社等の活用は不可欠でその費用についても高額な経費負担となっており、今年度も人材確保には大変厳しい状況ではあるが適正な職員配置と継続的な雇用確保が図られた。前述のとおり人材確保のための諸経費増加傾向と介護職員単価の高騰は継続的な課題であり、介護報酬の適正な安定した収入確保が絶対的な要件となっている。</p> <p>施設管理及び区民施設運営管理は、効果的な使用量の削減により光熱水費の軽減が図られた。諸物価が値上がり傾向にある中、継続的に利用料金の据え置きとサービスの維持を図りつつ、地域住民向けの各種事業の提供が実現できた。また、継続的かつ日常的に節水・節電など、無駄をなくす経営努力により、適正な収支を維持継続し健全な事業継続の推進を図りながら培ってきたノウハウを生かし総合的に事業コストの削減を実践できたものと考えている。</p>

7 区としての評価・今後の方向性

平成7年の設置以来、ご利用者・ご家族のみならず、地域の信頼を得て、継続的かつ安定した運営に努めていただいています。

介護保険事業においては、介護職員人材難は全国的な傾向であり、日本の介護業界全体の課題でもあります。その中で継続的な雇用確保が図られ健全な事業運営を行っていただいていることは、第一に大きく評価できるポイントです。また、職員の倫理や介護の質、ご利用者の生活の質の向上に資する様々な取り組みを積極的に行っており、結果的に第三者評価機関の評価やご利用者・ご家族の安心・安全につながっていること、夜勤看護師の配置など、医療対応にも力を入れていることなどが、高く評価できます。今後も介護保険施設として高い質を保った運営を継続されることを望みます。

区民施設については利用が減っていますが、新型コロナウイルス感染症が今冬から始まったこと、感染症対策として3月から閉鎖したことを考慮すると、ほぼ例年通りと言えます。効果的な光熱水費の軽減が図られていることも、環境保護の重要性や事業コスト削減の観点から大きく評価できるポイントです。

今冬から始まった新型コロナウイルス感染症は、介護保険施設においても感染症対策だけでなく、サービス提供のあり方や居住者と地域やご家族のつながり方を変えつつあります。また、働く職員にとっても、変化の中にあります。ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた介護保険施設及び区民施設のあり方を検討頂きたい。また、令和2年度に指定管理期間を2年間延長したことから、現指定管理期間終期は令和4年度末となりましたが、「指定管理者候補者選定委員会」開催時の委員の意見として、利用者やご家族及び職員からの苦情を正しく受け入れる体制を整えてほしいとの意見がでていることに留意して、安全・安心のサービス継続に努めていただきたいと思います。